

令和7年度「大阪文化賞」受賞

<div>ふじもと 藤本</div> <div>そうすけ 壮介</div>	54 歳	 <div>©David Vintiner</div>
分野：芸術（美術）		
現職：建築家		

《受賞理由》

日本を代表する建築家である氏は、令和2年より2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）の会場デザインプロデューサーを務め、大阪・関西万博のテーマである「いのち輝く未来社会のデザイン」を具体的に表現するとともに、大屋根リングの設計に携わるなど、活躍されてきました。

大阪・関西万博のシンボルともいえる大屋根リングは、「多様でありながら、ひとつ」という会場デザインの理念を表す建築物でもあり、円の中に世界が集まっていることを実感できる建築として圧倒的な存在感を示しました。大屋根リングの上から大阪湾の美しい夕陽を眺めることができ、大屋根リングの下では日差しや雨を避けて休息できる空間として、多様な国・地域の人々が自然と集う場となり、大阪の都市の魅力や日本の木造建築の素晴らしさを世界に発信し、多くの人々に感動を与えました。また、令和7年3月には「世界最大の木造建築物」としてギネス世界記録に認定されました。

さらに、同年7月から森美術館（東京都）において初の大規模個展を開催し、その展示のひとつとして大阪・関西万博《大屋根リング》のプロジェクトを紹介する等、大阪・関西万博に関連した企画でも多くの人々を楽しませました。

このように、氏のこの1年間の活躍は、大阪文化の情報発信に大きく寄与しており、今後のさらなる活躍を期待してここに大阪文化賞を贈ります。

《略歴》

- 昭和 46 年 (1971 年) : 北海道に生まれる
平成 6 年 (1994 年) : 東京大学工学部建築学科卒業
平成 12 年 (2000 年) : 藤本壮介建築設計事務所設立
令和 2 年 (2020 年) : 2025 年日本国際博覧会 会場デザインプロデューサー就任

《主な受賞歴》

- 平成 20 年 (2008 年) : JIA 日本建築大賞「情緒障害児短期治療施設 (現: 児童心理治療施設)」
平成 26 年 (2014 年) : フランス・モンペリエ国際設計競技最優秀賞
平成 27 年 (2015 年) : エコール・ポリテクニク パリ・サクレキャンパス新研究棟国際設計競技 最優秀賞
平成 29 年 (2017 年) : フローティング・ガーデン (ベルギー) 国際設計競技最優秀賞、ジョイア・メリディア国際設計競技 (フランス) 最優秀賞
平成 30 年 (2018 年) : ザンクト・ガレン大学 HSG ラーニング・センター国際設計競技 (スイス) 最優秀賞、ビレッジ・バーティカル国際設計競技 (フランス) 最優秀賞
令和 6 年 (2024 年) : 「(仮称) 国際センター駅北地区複合施設基本設計業務委託」受注候補者に特定

[主な作品]

- 平成 20 年 (2008 年) : House N (大分県)
平成 22 年 (2010 年) : 武蔵野美術大学 美術館・図書館 (東京都)
平成 23 年 (2011 年) : House NA (東京都)
平成 25 年 (2013 年) : Serpentine Gallery Pavilion 2013 (イギリス)
平成 31 年 (2019 年) : L' Arbres Blanc (フランス)
令和 2 年 (2020 年) : 白井屋ホテル (群馬県)
令和 3 年 (2021 年) : House of Music, Hungary (ハンガリー)、
マルホンまきあーとテラス 石巻市複合文化施設 (宮城県)

- 令和6年(2024年) : Pace Tokyo (東京都)
Welcoming Champagne Ruinart Pavillon (フランス)、
大雪葬斎場 (北海道)
- 令和7年(2025年) : 2025年日本国際博覧会 大屋根リング (大阪府)、
NOT A HOTEL ISHIGAKI 「EARTH」 (沖縄県)

[主な展覧会]

- 令和6年(2024年) : 「Primitive Future-Everything Is Circulating」
ウツソンセンター (デンマーク)
- 令和7年(2025年) : 「藤本壮介の建築：原初・未来・森」 森美術館 (東京都)